

片桐 初頂点まで課題登り切る



山岳少年男子に出場する片桐

ボルダリングで鍛えたバネ武器

原と少年男子県勢4年ぶり出場

山岳
 (10月1〜3日 西条西部
 体育館ほか)

山岳少年男子には片桐綾真(磐田豊田中3年)が原賢伸(浜松日体高3年)と組んで初出場する。

初の大舞台で、そびえ立つ壁をよじ登る。時には指数本だけで全体重を支え、傾斜が90度以上の人工壁に挑む。競技は登る高度を競うリードと、課題を完登した数を争うボル

ダリングの2種。2人の合計で順位を決める。

片桐はボルダリングを得意とし、鍛えられた筋力とバネで、練習拠点の浜松市内のクライミングジム「CRAG」の課題を1カ月で全て制覇。「国体で、どんな課題が出ても全



てクリアしたい」と意気込む。

ボルダリングは豊田北部小6年時から始め、頭と全身を使って目の前の壁を攻略していくことにのめり込んだ。クライミングに集

片桐は国体の難題に挑んで決勝進出を目指す
 ~~~~~  
 中したい」と部活には所属せず、ジムに週5回通い、ここで知り合った経験者たちに教わりながら力をつけてきた。  
 静岡勢の少年男子が  
 出場するのは、成年男子で出場する田辺匡律(立大4年)、鈴木正信(明大3年)が挑んだ2

片桐 綾真 (かたぎり・りょうま) 2002年(平14)9月29日、磐田市生まれの14歳。豊田北部小6年時からスポーツクライミングを始める。家族は両親と弟。1歳65、60kg。血液型A。  
 013年以来4年ぶり。相手の原はリードもボルダリングも得意とし、「今年チャンピオン」と決勝に進出して上位を狙う。  
 (矢所 香)